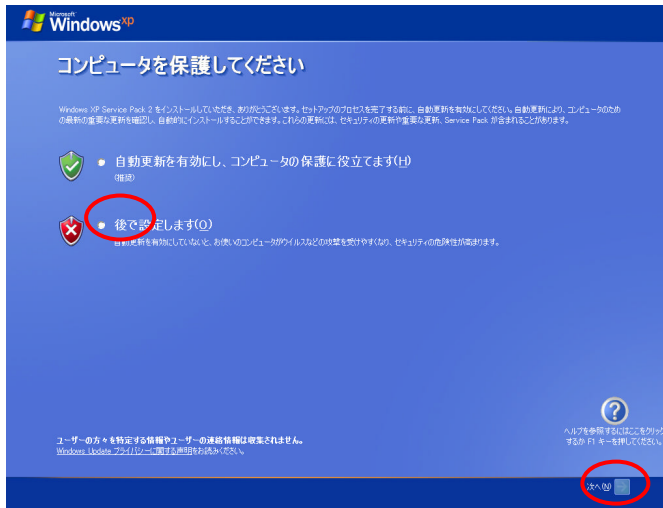


## Windows XP SP2 適用後に必要な作業

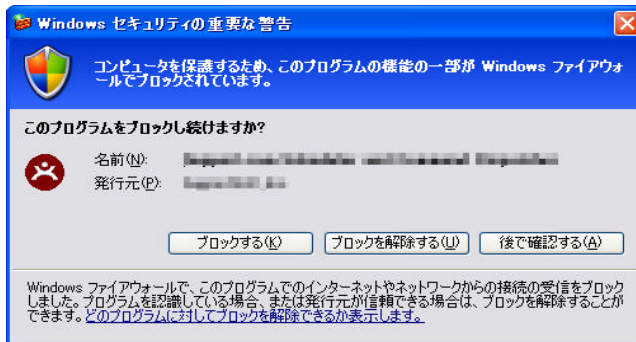
SP2適用後に "自動更新の設定" を適切に、かつ "Windows セキュリティの警告" をオフにする手順です。

### 0 .SP2インストール再起動後、最初のログイン時

0-1 SP2インストール後、最初の再起動のログイン直前に次の画面が現れます。後で設定します (O) にチェックを入れ [次へ] ボタンをクリックし、ログイン画面に進みます。



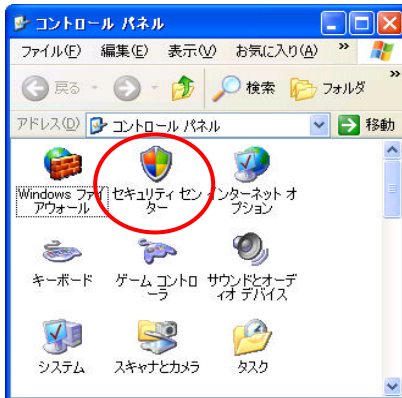
0-2 ログイン直後から、外部との通信を行おうとするプログラムが存在する場合、次のような警告画面が表示される場合があります。必要に応じて、解除 (許可) ・ブロックの設定を行ってください。



## 1. 自動更新の設定

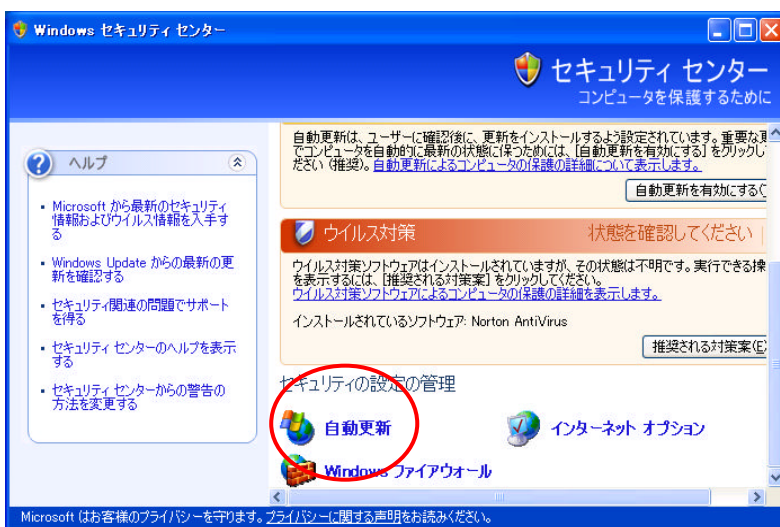
1-1

[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] をクリックしコントロールパネルを開きます。セキュリティセンター アイコンをダブルクリックします。



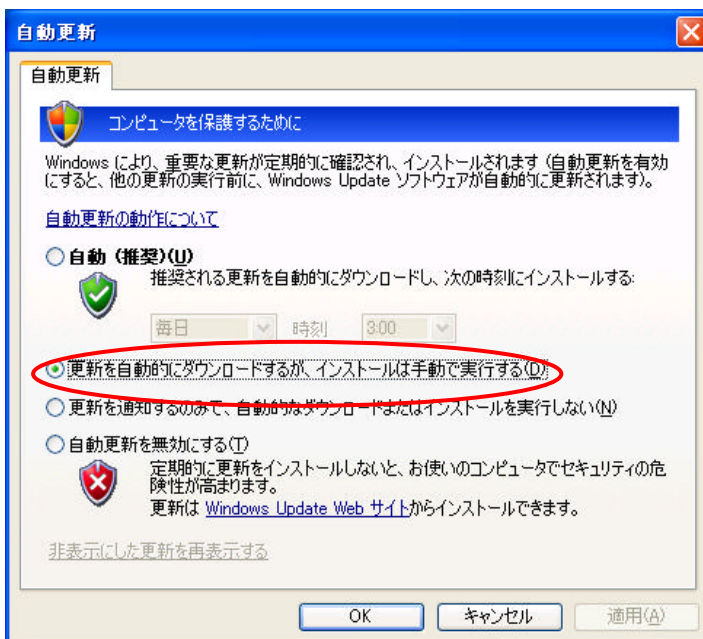
1-2

"セキュリティセンター"画面下部の 自動更新 をクリックします。



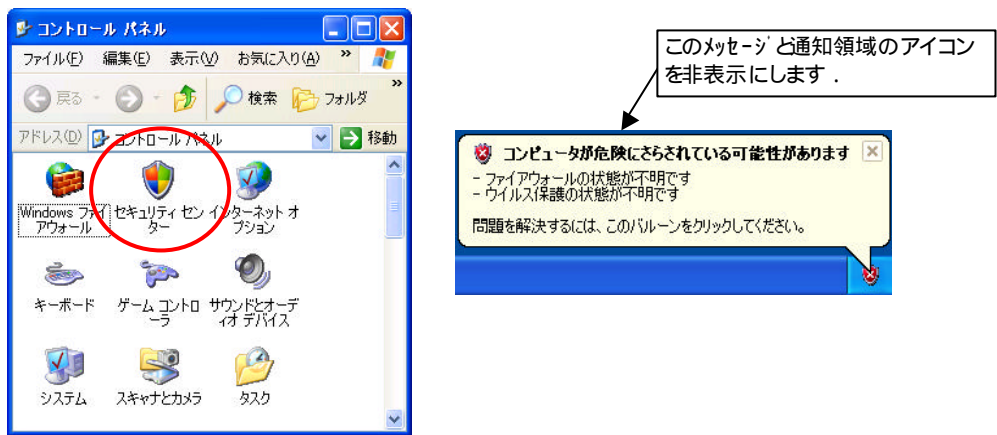
1-3

"自動更新"画面 から "更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する (D)" を選択し [OK] ボタンをクリックします。"セキュリティセンター"画面を画面右上のXをクリックして終了します。

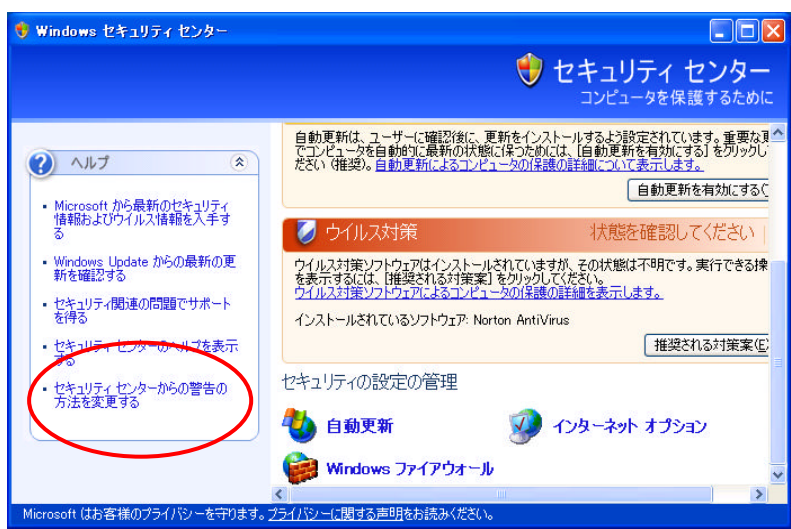


## 2.Windows セキュリティの警告を停止する

2-1 [スタート] > [設定] > [コントロールパネル] をクリックしコントロールパネルを開きます。 "セキュリティセンター" アイコンをダブルクリックします。



2-2 "セキュリティセンター" 画面の "セキュリティセンターからの警告の方法を変更する" をクリックします。



2-3 表示された "警告の設定" 画面で、警告を受けたくない項目のチェックを外し [OK] をクリックします。 一切のメッセージを非表示にするには、全てのチェックを外し [OK] をクリックします。

